



学校だより

平成 30 年 2 月 28 日
No.12 3 月号
横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

温故知新

校長 荒井 健

本校ウェブページでも報告させていただきましたが、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会マスコット選考」への本校の投票結果は右のとおりでした。選んだ理由として、子どもたちは次のようなことをあげていました。

ア	イ	ウ
11 票	5 票	4 票

- ア ・未来につながっているイメージと、温故知新の考えがすてき
・エンブレムが入っているところがいい
- イ ・炎のイメージで、勝敗に関わらず熱く応援できそう
・猫やキツネ、狛犬のキャラクターが日本らしい
- ウ ・キツネとタヌキで、親しみやすい
・紅白カラーが、日本の国旗の色や紅白歌合戦を想起させ、日本らしい



このおたよりが出る 2 月 28 日（水）に、正式な結果発表があります。最終的にどのマスコットに決定されるのか、子どもたちも楽しみにしていることと思います。

さて、本校で一番票数が多かった「ア」のマスコットですが、「伝統と近未来がひとつになった温故知新なキャラクター。伝統を重んじる古風な面と最先端の情報に精通する鋭い面をあわせ持っています。正義感が強く運動神経バツグンで、どんな場所にも瞬間移動できます。」と紹介されています。本校児童が「ア」のマスコットを選んだ理由にも「温故知新の考えがすてき」ということがあげられていました。

温故知新の意味ですが、広辞苑では「昔の物事を研究し吟味して、そこから新しい知識や見解を得ること。ふるきをたずねて新しきを知る。」と記されています。

2 月 23 日に本校 3 年生 3 クラスに対して開かれた、岸根囃子連の皆様による「お囃子教室」は、まさに温故知新の体験だったと思います。日常的にはあまり見聞きしなくなってしまった日本の伝統音楽と伝統芸能に、子どもたちは思いのほか新鮮さと親しみを感じたようです。演奏に聴き入り、その後の太鼓や鉦、獅子舞の体験にも、積極的に楽しそうに取り組んでいる子どもたちの姿に、「伝統を学びなおしながら、新しい何かを創造していく可能性」を感じました。



【岸根囃子連の皆様の演奏】

今年度も、地域の皆様をはじめ、多くの皆様に子どもたちと関わっていただき、学校のみでは到底及ばない様々な力をつけていただきました。心より感謝申しあげます。ありがとうございました。今後も変わらぬお力添えをいただきたく、お願い申しあげます。

【篠原消防団の皆様ご指導による「三角巾を使った手当実習」】

